

# 10日から全日本大学野球選手権 八学大 頂点目指す

第68回全日本大学野球選手権 6月10日から7日間

第68回全日本大学野球選手権は10日、明治神宮球場と東京ドームで開催する。北東連盟代表は、春季リーグでは、10日第2試合（午前11時）全国各連盟の春季リーグ優勝した。

04年と10年に、4強入りし

明大	大(東京六大学)	11日③14:00神
武大	大(関甲新)	10日①9:00神
福井工大	大(北陸)	13日①9:00神
中京学院大	大(東海)	10日②11:30神
桐蔭横浜大	大(神奈川)	12日①9:00神
近大	大(東都)	15日①11:30神
東農大	大(広島六大学)	10日③14:00神
北海道オホーツク大	大(北海道)	12日②11:30神
大知工科大	大(阪神)	11日①9:00神
高岡大	大(四国)	13日②11:30神
星槎道都大	大(九州六大学)	11日②11:30神
城西国際大	大(札幌)	12日③14:00神
東北福祉大	大(千葉)	11日③14:00ド
大創大	大(仙台六大学)	10日①9:00ド
八戸学院大	大(近畿)	13日③14:00神
日本国際大	大(東京新大)	10日②11:30ド
愛知工大	大(北東北)	12日①9:00ド
九大	大(南東北)	10日③14:00ド
産商大	大(愛知)	15日②14:00神
日本文海大	大(福岡六大学)	12日②11:30ド
立命館大	大(関西六大学)	10日④16:30ド
環太平洋大	大(九州北部)	13日④16:30神
宮崎産業経営大	大(首都)	11日①9:00ド
	大(関西学生)	12日③14:00ド
	大(中国)	11日②11:30ド
	大(九州南部)	

※○数字は試合順。神は神宮球場、ドは東京ドーム

今季のチームを見ると、打線の中心は主将の北島隼人。リーグ終盤の青森大戦で2本塁打、富士大戦で満塁本塁打を放つなどパンチ力があり、チームを勢いづける打撃が光った。投手陣は左右のエース、中道佑哉と大道温貴が柱。左腕の中道は140キロ超の直球にスライダーやチェンジアップを織り交ぜ、安定感がある。右腕の大道は最速148キロの威力がある直球が武器の本格派だ。

チームは7日、千葉県船橋市のNTT東日本の野球部練習場で調整。正村公弘監督は初戦について「仏教大の投手は低めに丁寧な投げるタイプ。ボール球の見極めが重要」と、攻略のポイントを挙げた。

(林泰輔)